

総務常任委員会報告



では、どうしようもないのでは。

答 JR九州熊本支社、JR九州本社に、市長が直々に出向き要請をしていますので、JR側も十分配慮してくれると思っています。

平成22年度阿蘇市一般会計補正予算について

〔企画振興課関係〕

問 現在工事中の阿蘇駅前ロータリーだがその内側はどうする計画か。

答 阿蘇山の眺望を大前提としていますので、築山とか植栽をして、中央部分には数台分の駐車スペースを設ける計画です。

問 阿蘇駅前開発が着々と進んでいるが、阿蘇駅のトイレがそのまま

〔税務課関係〕

問 一の宮と波野の固定資産税の評価を一定率にするとは、どういうことか。

答 旧町村毎に固定資産税の取扱いが異なっていたことから、評価方法や課税業務を統合し、納税者間や旧町村間において不公平が生じないように取組んでいくものです。

阿蘇市過疎地域自立促進計画の策定について

問 波野に住宅整備をしてもらいたい。それと温泉を利用した老人福祉は、事業を充実できるよう、過疎債の中で検討してほしい。

答 過疎地域自立促進計画は、今回はこれで県のほうに提出させていただし、その後は計画変更が可能ですので

で、阿蘇市の住宅施策の一部として建設課のほうに繋いでおきたいと思っています。

阿蘇広域行政事務組合規約の一部変更について

問 改正前は、市町村長が3名議員になっていて、市町村長が管理者又は副管理者に選任された場合は、その市町村の副市町村長又はその市町村長が指定する者をもって充てるようになっていたが、そのところどのようにならされているのか。

答 今回の規約改正後は、1名が管理者に、残りの市町村長全員が副管理者になることから、現行規約どおり市町村長が1人について指名できるとするもので、各市町村長が指名をされなければ、それぞれの議会議員の中から全員選挙していただければ結構であり、組合議会議員の欠員にはならないという説明がされています。

問 市町村長全員が

管理者又は副管理者として参加するのだから単純に議員全てを議員の選挙でということではないのか。

答 現行で言えば小国町と高森町では町長が指名した方が広域の議員となっており、それが他の4町村に増えるもので、現行規約を大きく変更するものではないとの説明を受けています。

問 広域も地方自治法の二元代表制でやるということであれば、各市町村長が議員の1名を指名することが出

来るといいますが但し書きは必要ないし、但し書きは省いた方がいいと思うという意見があり、これには修正案を阿蘇市として出すことが出来るのかという質疑がありました。

答 同文議決であり、そこは厳しいと思われる。討論に入り、挙手による採決を行った結果、可否同数であったので、委員長採決により本案は否決すべきものと決定いたしました。



整備途中の阿蘇駅前ロータリー

文教厚生常任委員会報告



平成22年度阿蘇市一般会計補正予算について

【高齢者支援課関係】

問 老人福祉費の介護施設開設準備経費特別対策事業補助金3千660万円の内訳はどうなっているのか。補助金はいつの時点で事業者に補助するのか。また、建設の状況は。

答 補助金の内訳は、赤水校区の順和会密着型の特別養護老人ホーム分が1740万円、順和会のグループホー

ム分が1080万円、内牧・山田校区の小規模多機能事業所分が300万円、古城校区のグループホーム分が540万円です。定員一人当たりに対して60万円を助成します。補助金は、人件費・研修費・備品購入費・事業を周知するためのパンフレット代等に充てられます。このため、事業所が開所する時に助成をします。事業所の建設状況について、赤水校区は入札が近々行われるとのこと。山田・内牧校区は建物を建設中です。

平成22年度阿蘇市国民健康保険阿蘇中央病院事業会計補正予算について

【教育委員会関係】

問 病院建設事業の基本設計として継続費の総額が4504万円組まれ、年割額として

22年度は2250万円、23年度は2254万円となっている。これは一般の建築事業と違い、どのような設計業務を行うのか。

答 地質調査とか、法的な制約上の問題がないか等について調べたものであり、また、病院の規模、各部書の配置、医療機器の配置等を概略的に設計するものです。実施設計は基本設計が出来上がった段階で、それを基に図面を引いて具体的に事業費を積み上げていきますが、基本設計は実施設計の前段であります。

平成21年度阿蘇市一般会計歳入歳出決算の認定について

【教育委員会関係】

問 阿蘇地区統合中学校建設事業で地質調査が行なわれたが、阿

蘇西小学校の体育館建設の時は後になって土壌が悪いということ、かなりの額の追加予算が注ぎこまれた。今回の調査結果はどうであったか。

答 地質状況はそのまま建設できる地質ではなく、地盤改良を行って施行しなければならぬという結果が出ています。杭施工より地盤改良が安価でスケジューリングにも短期間で終わります。

問 公民館活動補助と校区社会体育活動助成について、旧一の宮町と旧阿蘇町では支給方法に相違があるので、早く統一してもらいたい。

答 宮地・坂梨・古城・中通の公民館は市の公立公民館であることから、公民館活動費に社会体育活動費を含めて補助しています。これに対し、波野と阿蘇地域については公民館活動費だけを補助し、校区社会体育活動費は別に助成をしています。来年度予算については、社会体育活動費を公民

館活動補助に一本化し、助成額についても調整を進めます。

【健康福祉課関係】

問 人工透析については22年4月現在で108名いるとのことだが、阿蘇市の住民で108名なのか。透析は医療費が高く、市としての対策はどのようにしているのか。

答 全員が阿蘇市の住民であり、45%の方が糖尿病から透析に至っています。このため、糖尿病を予防することが重要で、健康診断の結果を理解していただき、早期予防となりませう働きかけをしています。

平成21年度阿蘇市国民健康保険阿蘇中央病院事業会計決算の認定について

【健康福祉課関係】

問 病院建設が阿蘇中学校跡地に決まったが、地質調査は中学校を建設した時に行っており、二重調査は経費の無駄使いではないか。

答 建設時の調査資料はありましたが、新しい場所に建物を配置する場合は新たに地質調査をすることが必要であり、当時の調査結果も参考にしながら検討していきたいと思えます。



市公民館坂梨分館